



What's "mama cafe"
 ままカフェとは、震災後に不安や悩みを抱える県内在住のママたちに気軽に交流できる場をという想いからはじめたものです。現在は県内6ヶ所で開催されています。

Q1 避難先自治体での経験について



A どうしてこんなに親切にしてくれるんだろう、と驚くほど、避難先の秋田県横手市の方々には親切にいただきました。6月ごろ避難先を夫と検討する中で、支援が手厚いとお聞きした秋田県の中で、福島県からも向かいやすい県南にある横手市に避難しました。親戚などを頼ったわけでもないので、半ば勢いで避難した形となってしまったのですが、子どもたちの制服や、授業で使用するスキーウェアなど、周りのお母さんたちが「持ってって!」と一言とくださるなど、とても親切にいただきました。横手市からお米やお野菜、秋田県からお見舞金などを頂いたり、行政の支援も手厚く、もともと秋田県自体が児童館や子育て支援センターが多いこともあり、とても子育てしやすい環境でした。



A 避難先(北海道)にいたのは短期間だったので地元の方々との交流というものはあまりありませんでしたが、その地域に避難してきた方々で集まったり、物資が届くと公民館でいただいたりしていました。一方、福島ナンバーの車だったので、スーパーに行きにくいなど、慣れない土地で、生活のしにくさを感じる場面もありました。



A 週末、子どもたちに会いにきた夫が帰るとき、子どもたちが悲しむ姿を見るのがつらかったです。お別れの際、子どもたちは毎週末泣いていました。だんだん、来てくれたお父さんに「いつ戻るの?」と聞く時間が早くなって、最後にはお父さんが来てくれた瞬間に確認していました。下の子は車で帰るお父さんを大きな声で泣きながら走って追いかけていて、お兄ちゃんは我慢強いので泣きはしないのですが、お父さんが帰った後、お父さんの車が止まっていた駐車場を窓から1時間ぐらいじっと見ていたりして。そんな姿を見ると切なくなりました。

Q2 郡山に戻ってきた後の生活で大変だったことは?



A まず、帰還後、元々通っていた幼稚園のママ友とのつながりがいったん途切れてしまっているのが、悩んだ時の相談先に苦労しました。行政から放射線量などの情報は届いていましたが、布団は外に干してもいいの、地元の野菜を食べさせてもいいの、など、より身近な、生活していく上での不安を相談したかったのですが、一度避難した身としてはずっと避難せず残っていたママたちには聞きにくく、悩みました。

Q3 震災～5年、ママたちから寄せられた相談内容は?



A 震災～5年、帰還したママたちは、子どもたちの食べ物の放射能汚染、プールサイドを裸足で踏ませて良いものか、など、情報がない中で、日常生活に不安を持っていました。また、家族内でも放射能に対する考え方に差があり、たくさんの悩みを持っていました。その中で、ままカフェでは同じ立場のママたちがどう対応するか一緒に考える場として活動を行ってきました。時には、より遠くの産地で獲れた野菜や卵がよいのでは?と思ったお母さんたちの、どこのスーパー・お取り寄せ野菜がよいのか相談する場として。何ミリベクレルの放射能を含んでいると知っても、それがどのくらい危険なのか、当時はわからなかったんです。

Q4 今年で震災から10年目、今後郡山市のママたちに必要なサポートとは?



A 元々福島県に住んでおらず、夫の転勤で転入してきたママの中には、「放射能って、外に出るとつるんですか?」などの疑問を今も持っている方もいます。県内では放射線について学校でも教えていますが、まだまだ県外には正しい知識が広まっていなと感じることもあります。ままカフェのような、帰還・転入された方が知り合いには聞きにくい疑問を聞ける場は、まだまだ必要だと感じました。また、避難していたかどうかにかわらず、インターネットで調べた知識だけをうのみにせず、育児について相談したり、発達などに不安を感じているママたちがさまざまな機関とつながり地域と一緒に子育てをしていくためのきっかけづくりとして、ままカフェを利用いただければと思っています。サポートとしては、ママたちは子どもが避難先の小学校・中学校に通っているため、高校・大学などの進学タイミングで戻ってきているように感じます。一度小学校・中学校は住んでいる地域の学区内で人間関係が形成されていますから、その後のタイミングで、と考えられるのだと思います。逆に、避難しても避難先で地域のコミュニティができていて、お子さんが学校になじめず、戻ってきたというお話も聞きますし、高校入試などは、各県で入試方法が異なるため、フォローが必要だと思います。

Q5 これから避難先から戻ろうと思っている方、郡山市のママたちへのメッセージ。



A ままカフェは最初、福島市・郡山市で始まりました。郡山市はペップキッズこおりやま・ニコニコ子ども館など無料で利用できる子育て施設・イベントも充実していて、子育てしやすい環境だと思います。不安に思っていること・こんなことを聞くのは…と遠慮していることなど、いつでもままカフェに聞いてください。行政やほかの機関とも連携して、問題にあたっていきたいと思います。私たちは支援員というより、郡山市での子育ての先輩として、ままカフェで皆さんをお待ちしています。一人で抱え込まず、悩みを話すだけでも違ってきますので、まずは気軽にお越しください。





Smile Future Koriyama

未来へつなげる市民の笑顔

